

高校生 耐震性競う

つまようじタワー

崇城大でコンテスト

崇城大は23日、高校生がつまようじと接着剤だけで作ったタワーの耐震性を競うコンテストを熊本市西区の同大で開いた。26校から過去最多の92組184人が参加。熊本地震を機に生徒の関心が高まっているという。

タワーの条件は、30センチ四方の台座の上に高さ50センチ以上ですることなど。重りを加えながら機械で揺さぶり、どこまで振動に耐えられるかを普通科と建築系学科の2部門で競った。

熊本北高1年の奈須竜一さんと鶴田登馬さんは「ビル状のタワーを立てるだけでは弱いため、四隅に脚を張り出させて補強した」と工夫を説明。タワーの倒壊を免れた生徒らはガッツポーズするなどして喜んでいた。

つまようじタワーの耐震性を競うコンテストが開かれた崇城大の会場＝23日、熊本市西区



筋交いの加え方や傾きにくいバランスの取り方などがポイントだといい、コンテスト運営に当たった村上泰浩教授(環境工学)は「生徒の中から、優れた耐震性を実現できる建築家が誕生してほしい」と期待した。(石貫謹也)

上位結果は次の通り。▽カテゴリーⅠ(普通科)
①熊本北②明善(福岡)③大津▽カテゴリーⅡ(建築系学科) ①球磨工②小川工③球磨工